

—— 2009年度予算編成に関する要望書へ回答 ——

日本共産党市議団が昨年11月5日、邑上市長に提出した「2009年度予算編成に関する要望書」に今月12日副市長から回答がありました。この「要望書」は市議団が取り組んだ「市民アンケート」に寄せられた市民の皆さんの貴重な要求・要望が反映したものでした。いくつかについてお知らせします。

介護保険制度の拡充について

- * 保険料段階の非課税者層、課税者層ともに細分化し、所得に対して更に累進性を高め14段階設定とする。このことにより、第三期から保険料額が据え置き又は下がる方が83.5%となる。
- * 利用者負担額助成事業については、対象用件を緩和することにより対象者を拡大し、対象サービス、助成率は現行制度どおり実施を継続する。また、通所系サービスの食事補助については、対象者を設け、低所得の方の負担軽減を図る。

介護事業者の実態調査について

- * 市内事業者の介護従事者の実態を把握するための調査を、平成21年度に実施予定。

日本国憲法をくらしに生かす市政について

- * 憲法月間記念事業においても、実行委員会方式で平和をテーマとした講演会を実施する。

平和・非核事業の具体化・充実について

- * 「非核都市宣言平和事業実行委員会」を設置し、市民と協働で平和事業を実施し、戦争体験の記録集を作成する。

妊産婦健診の公費負担の回数を増やす件について

- * 公費負担の妊産婦健診については、5回から14回に増やす。また、武蔵野市民の里帰り出産と助産所での受診者についても、新たに助成の対象に加える。

商工業振興について

- * 新・元気を出せ！商店街事業費補助金では対象にならない商店街が保有する装飾街路灯等の維持管理に係る経費について支援。